



今月の援農状況

- 台風 12、15 号による被害・影響 お見舞い申し上げます。
- 8 月は食用桑の収穫やブルーベリーの収穫といった夏だけの作業が入り、援農は 1056 時間になりました。今年になって、一ヶ月 1000 時間を越えるようになりました。援農に参加された方は 52 人でした。
- 援農時間の年間累積値は 前年比 約 150%と増加傾向にあります。

援農体験記 「空に向かってそびえる桑の葉」 横川町 木下清子

この夏、娘と 2 人で桑の葉収穫に行かせてもらいました。
朝、6 時からの開始に寝坊をしないように緊張しながら、まずは桑畑に到着出来て第一目標達成。

最初は、湧き出る虫に驚き、葉を摘みすぎたりと失敗がありましたが、暖かく迎えてくれた生産者の方々や援農の方々のお陰で、楽しく仕事をさせて貰うことができ感謝しております。

ほぼ、期待通り、夏の太陽を浴びてすくすくと伸びる桑の木がいとおいしく感じられました。



富所農園・イベント 便り

窓口責任者 酒井敏夫



9 月上旬 農園の一面での状況

9 月は 2 度の台風に見舞われ畑の手入れ大忙し。作付けの切り替え時期にも当たり、「富所名物」の堆肥材料・馬糞が使いきり、補充してもらった。

参加者に飲み物提供始めたら共同草取り参加人数が倍近く増え、楽しい情報交換出来た。

①地主から：道路わきの小川（雨無時干し上がる）改修工事近く予定（しばらく野焼き不可、完成後道路幅一部拡張）②仲間から：盛土の境した 5 区画は集中豪雨で土が流失、土留め必要（土嚢と土留め草植え検討中）③管理担当から：小屋の屋根（波板）一部吹き飛び回収したが修復の応援要す。

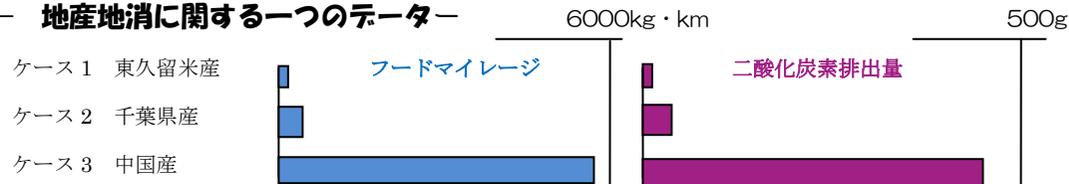
「秋なすび 葉ずれの傷の 増えにけり」 (朝日)

フードマイレージ面からの地産地消の推奨

農林水産省にお勤めの中田哲也氏からの情報に 興味深い話題・データがありました。

- ・食料自給率が約 40%と低下する一方 食料の約 3 割を廃棄・食べ残している。
- ・農業所得が半減し 高齢化(65.8 歳)し 耕作放棄地が急増(40 万 h)している。
- ・食に対する不安感の高まり：「食と農の間の距離が拡大」という話題がある。

地産地消に関する一つのデータ



東京都産の長かぶ 2kg を使うことで二酸化炭素排出量を 464g 削減



チョツと耳にした情報・アドバイス

- さといもの育ち具合**
「種イモとして 親株を利用すると 収穫量が増す」との説を実証するため 今年 5 月に定植。確かに 順調に 立派に生育中。そろそろ収穫時を迎えます — 実績期待。
- ピンク色の寒冷紗**
防虫を主な目的として利用される紗は白・黒が主流。ここに新たに ピンク寒冷紗が登場しつつあり。光合成に有効な波長を増幅させてくれるとのこと。
- 寒い時期を迎えての刈払機のエンジンかけ**
チョークを閉じて スタートロープを引き 空回転の音がぐもった ”ポボボ” に変化したら チョークを戻して操作するとかかりやすい体験してみてください。

事務局からのお知らせ

人材—農家需要と市民意欲のマッチング

- 台風一過**
15 号台風は八王子近辺を直撃しました。12 号の雨台風に続き 今回は強風が吹き荒れました。作物・ハウス 等への被害をお聞きしています。お見舞い申し上げます。
- 他の団体 との 交流**
既に 連絡させていただいていますが いくつかの団体との交流を すすめています。
9/26 生ゴミの講演会 10/14 刈払機 講習会 11/12 霧里農場見学会
- 二つのピックアップ イベント 予定**
秋の定例イベントがひかえています。詳細は 別途 連絡いたします。
[10/15 大豆講演会 10/29 収穫祭 子供キャンプ場] [11/19、20 いちよう祭り わくわく広場]